

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 2 部門第 7 区分
【発行日】 令和 5 年 12 月 5 日 (2023.12.5)

【国際公開番号】 WO2023/089741
【出願番号】 特願 2023-562020 (P2023-562020)
【国際特許分類】
B 6 5 H 5/06 (2006.01)
【F I】
B 6 5 H 5/06 F

10

【手続補正書】
【提出日】 令和 5 年 8 月 1 日 (2023.8.1)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

媒体搬送装置であって、
媒体を給送するための給送ローラと、
前記給送ローラに対向して配置された分離部と、

媒体搬送方向と交差する方向に間隔を空けて配置され、前記給送ローラによって給送された媒体を媒体搬送方向の下流側に搬送するための複数の搬送ローラと、

前記複数の搬送ローラのそれぞれに対向して配置された複数の対向ローラと、を有し、
前記給送ローラ、前記分離部、前記複数の搬送ローラ及び前記複数の対向ローラは、媒体搬送方向から見て、前記給送ローラ及び前記分離部の第 1 ニップ領域と、前記複数の搬送ローラ及び前記複数の対向ローラの第 2 ニップ領域とが重ならず、且つ、前記給送ローラと、前記複数の搬送ローラ及び前記複数の対向ローラのうちの少なくとも一つのローラとが重なるように配置される、
ことを特徴とする媒体搬送装置。

30

【請求項 2】

前記給送ローラと前記分離部とが接する位置に第 1 ニップ領域が形成されるように、前記給送ローラ及び前記分離部の一方を他方に対して押圧する第 1 押圧部と、
前記複数の搬送ローラと前記複数の対向ローラとが接する位置に複数の第 2 ニップ領域が形成されるように、前記複数の搬送ローラ及び前記複数の対向ローラの一方を他方に対して押圧する第 2 押圧部と、を有し、
前記複数の搬送ローラ及び前記複数の対向ローラは、媒体搬送方向から見て、前記複数の第 2 ニップ領域の内側の端部間の距離が、前記第 1 ニップ領域の外側の端部間の距離より大きく、且つ、前記媒体搬送装置がサポートする媒体の最小幅より小さくなるように配置される、請求項 1 に記載の媒体搬送装置。

40

【請求項 3】

前記複数の搬送ローラ及び前記複数の対向ローラは、媒体搬送方向から見て、前記複数の搬送ローラ及び前記複数の対向ローラの第 2 ニップ領域の内側の端部間の距離と、前記第 1 ニップ領域の外側の端部間の距離との差が 30 mm 以下となるように配置される、請求項 1 または 2 に記載の媒体搬送装置。

【請求項 4】

前記搬送ローラ及び前記対向ローラのうち、硬度が高い方のローラの幅は、硬度が低い方のローラの幅より大きい、請求項 1 ～ 3 の何れか一項に記載の媒体搬送装置。

50